

○福島市水道局給水装置工事分岐立会要綱

昭和 62 年 3 月 18 日

水道局要綱第 2 号

改正 平成 10 年 4 月 1 日 水道局要綱第 2 号

改正 平成 12 年 12 月 1 日 水道局要綱第 8 号

改正 令和 4 年 4 月 1 日 水道局要綱第 30 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、福島市水道条例（昭和 55 年条例第 35 号）第 10 条に規定する指定給水装置工事事業者（以下「指定工事業者」という。）が行う給水装置工事における配水管又は給水管からの分岐工事及びメーター取付工事施行の際の立会業務を適正に執行するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(立会)

第 2 条 分岐立会は、この要綱に基づき、配水管及び給水管からの分岐工事が適正に施行されるよう次に掲げる場合立会うものとする。

- (1) 分岐口径 75 ミリメートル以上のもの
- (2) 10 戸以上の断水を伴うもの
- (3) 仕切弁等の操作が必要な場合
- (4) その他管理者が必要と認めた分岐工事

(立会員の責務)

第 3 条 立会員は、この要綱に基づき、適正に立会業務を執行しなければならない。

(事前協議)

第 4 条 立会員は、指定工事業者から提出された分岐・メーター取付立会申請書（様式第 1 号）に基づき、事前に給水装置工事主任技術者と作業工程を協議するものとする。

(立会の確認事項)

第 5 条 立会員は、立会において次に掲げる事項を確認するものとする。

- (1) 給水管の取出し方法、メーターの取付方法及び施行
- (2) 道路部分の配管、接合方法
- (3) 使用材料、材質

2 立会員は、やむを得ない事情により立会をすることができなかった場合は、指定工事業者から施行写真を徴し、前項に定める項目を確認するものとする。

(立会結果の報告)

第 6 条 立会員は、立会を終了した時は、立会報告書（様式第 2 号）を作成し、立会の結果を所属長に報告しなければならない。

2 立会員は、立会報告書を常に整備しておかなければならない。

附 則

この要綱は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 10 年水道局要綱第 2 号）

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（平成 12 年水道局要綱第 8 号）

この要綱は、公布の日から施行し、平成 12 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要綱は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。